

令和6年第4回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（5人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	14番	西館 芳 信 議員	一問一答方式
2席	12番	檜 山 忠 議員	一問一答方式
3席	4番	沢 尾 宏 之 議員	一問一答方式
4席	11番	平 野 敏 彦 議員	一問一答方式
5席	3番	小笠原 伸 也 議員	一問一答方式

順位	1 席	議員 氏名	1 4 番 西 館 芳 信	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	---------------	------	--------

1. 町長の行政経営の姿勢について

昨今の市町村長選挙の政策公約に「稼げる自治体」を標榜する候補者を散見できるように、可能な手段を用いて、町を富ませること、そのための体制を整備することは行政経営の喫緊課題と思う。ゆえに、次の2つを問う。

(1) 企業誘致に係る町長の発言、姿勢について

町長は11月22日の議員全員協議会で「我が町はコンビニなどが進出して来ており、農家の農作業には外国人労働力では足りないくらい働く場所がある。だから、企業誘致はしなくてもいいと思っている」と発言した。失笑を禁じ得ない議員もいたと見受けたが、今一度この発言の真意と、これを取り消す考えは無いのか問う。

(2) 人事異動の手法について

「定期の人事異動に関し、本年も、事前に配置希望が採られていない」という言葉を複数職員から耳にした。人権擁護、行政の効率的運用上の観点からも、極めて重大な問題といえる。この種の話があること自体、看過できない問題だが、これは町長が承知していることなのか、このことに対する町の対応と今後の考え方は。

2. 町政の効率的運営について

我が町の2023年度決算の経常収支比率は県内40市町村のワースト4の94.7%であり、100万円の財政中、自由に使える分は5万3千円だけという危機的なものとなっている。改善のための効率的行財政運営の観点から次の2つを問う。

(1) 町保有（所有）施設の整理について

新庁舎建設と並行して、いや、事前に町保有の既存建物の整理方針が示されてこそ、基本計画などが聞く者に的確に響くと思うが、町は分庁舎、本庁舎の跡地に対する見解を一切示していない。それどころか、本年度は築40年前後の一川目生活会館を、同様の使用目的で建設されたコミュニティ会館がすぐ隣に接しているのにも関わらず、3千万円有余の財政を投じて改修した。このことに関し、町長の考えを問う。

順位	1 席	議員 氏名	1 4 番 西 館 芳 信	質問方式	一問一答方式
また、未だ、廃屋のたたずまいを見せ続ける、防犯、防災上の問題が大きな旧深沢地区生活会館の処分処置について町長はどう考えているのか。 (2) 大津波避難場所について 一川目南の大津波避難場所は指定場所に建物はおろか、避難者を降雪、風雨から防護する何の装備設備も無い。13年前の東日本大震災時のように降雪、厳寒時の津波であれば、まことに心もとない状況だが、町のこの場所の指定趣旨、及び避難所の定義を交えて教示願いたい。					

順位	2 席	議員 氏名	1 2 番 櫛 山 忠	質問方式	一問一答方式
1. 町の第50回衆議院議員総選挙の投票率と今後の対策について (1) 令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙の投票率と今後の対策について問います。 ア. 町の全体投票率と、前回第49回との比較はどのようになっていますか。また年代別の投票率で特に低い年代はどのような結果となっていますか。 イ. 低い中にあっても唯一、二川目地区生活会館投票所は前回比約2%増となっていますが、原因と分析は出来ていますか。 ウ. 来年6月には参議院議員通常選挙があると思われますが、投票率を向上するための対策をどのように考えていますか。 2. 災害時の避難所環境改善について (1) 11月10日の新聞報道で政府は9日に、移動式のトイレやキッチンカー等防災備蓄品の導入費用を補助する方針を固めたとありましたが、町ではどのように把握していますか。また町のトイレ、暖房器具、キッチンカー、生活用水等環境対策を充実する考えはありませんか。 3. 町内の山林保全対策について (1) 県内の10月時点でのナラ枯れ被害が過去最多、前季比2.5倍の約6万1千本と報道され、下北、上北でも初確認とありましたが、町内山林での被害確認はありませんか。今後の調査および対策をどのように考えていますか。 (2) 4・5年前から松枯れの被害が話題になり、松食い虫の対策が急務となっていました。その対策はどのようになっていますか。また被害はありませんか。 (3) 町内の多くの山林は伐採後の管理が不十分なため藪状態となっている所が見受けられますが、将来を見据えて苗木植樹等金銭的補助をして奨励する考えはあ					

順位	2 席	議員 氏名	1 2 番 櫛 山 忠	質問方式	一問一答方式
りませんか。 (4) 近ごろ、クマ、サルの出没が緊急放送されていますが、専門家の分析では里山の管理手入れが問題の一つではと話していますが、町内の里山の管理状況をどのように考えていますか。 4. 町加入のボランティア保険について (1) 町で加入しているボランティア保険の内容と、各地区で活動している民間ボランティア団体への対応について問います。 ア. 4・5年前に町のボランティア保険は各民間ボランティア団体にも適応すると説明があったと認識しています。その範囲はどのようになっていますか。たとえば事故、怪我等発生時の原因が災害、気候等自然が起因する場合は適用されないものか等その内容を問います。 イ. ある民間ボランティア団体では内容を確認しないまま任意保険を辞めて町の保険に頼ることにしました。ところがつい最近活動中に雪の寒が起因し体調不良から怪我をし入院しました。町に相談したところそれが認められませんでした。今その団体では今後の活動に支障をきたしていると聞きます。町では誤解が生じないようにもう一度各民間ボランティア団体に適用内容等を説明する考えはありませんか。					

順位	3席	議員 氏名	4番 沢 尾 宏 之	質問方式	一問一答方式
1. 国民健康保険おいらせ病院について 当病院は、地域に必要な医療を公平、公正に提供し町民の生命と健康を守り地域の健全な発展に貢献する使命も担っています。そこで以下の質問をいたします。 1. 当病院の施設の老朽化対策について (1) 非常時において医療行為を適切に継続するために、非常用発電機は重要なのですが、常時使用できる状態を維持できているのかお尋ねします。 ア. 当病院に設置されている非常用発電機は、過去に始動ができず支障があったと聞いております。現状、対策が講じられていると思われますが、どのような対策を講じたのかお伺いします。 イ. 機材については、経年劣化とともに不具合も増えると思われますが、今後の更新計画について、どのような展望を持っているのかお伺いします。 ウ. 当病院は、浸水想定区域に立地していることに加えて、非常用発電機が地上階に設置されていることを認識しております。水害時に非常用発電機が必要となった際に非常用発電機が水没して使用できないことが懸念されますが、例えば屋上階に移設するなど、今後の対策を講じる予定はあるのか。また、既に取り組んでいる対策があれば、前提となる想定条件は。 (2) 施設の漏水について ア. 上層部に設置されたシャワー室において漏水が発生し、一部利用制限があったと聞いておりますが、その後、類似の漏水は無いのでしょうか。 2. 当病院の立地について (1) 当病院は、浸水想定区域に立地しており、水害時に必要な医療を提供できない懸念があります。さらに、施設も老朽化しており、大規模な改修や新築も必要であろうかと思われます。					

順位	3席	議員 氏名	4番 沢 尾 宏 之	質問方式	一問一答方式
当病院は災害時の拠点施設となることから、早期の新築着工が必要と考えます。場合によっては、新庁舎建設よりも早期に対応すべきと考えますが、いかがでしょうか。 (2) 病院への交通アクセスについて ア. 北部地域の住民の利用が低迷し、近隣の三沢市への通院が多いようですが、当病院への交通の便が悪いことも一因であると思います。通院された方には、町民バスの無料券が支給されていますが、町民バスの利用状況についてお伺いします。 イ. 町民バスの無料券の配布を徹底するとともに、町民に対して利用できることを広く知らせることで、北部地域の住民も当病院の診療を受けやすくなると思いますがいかがでしょうか。 併せて町民バスは運行本数も少なく、通院のための時間調整が難しいため、町民バスに加えておいらバスへの通院補助を往復分検討すべきではないでしょうか。町民が当病院を利用しやすい公共交通サービスを整備することも、当病院の赤字を解消する一助になると思うがいかがでしょうか。 3. 当病院の広報について (1) 当病院の認知度が低いように感じます。当病院を利用している、または利用したいと考えている町民はどのくらいでしょうか。 (2) 当病院は、町民に寄り添った施設と認識しております。看護師さんたちは積極的に患者さんへ声掛けし、待合室で具合が悪い方にも常に目が届いているようにした。医師の技術力も高く、医療機器も最先端に近いものが導入され、病院に通院している患者さんからの信頼と、通院したことがある町民の安心感の醸成に寄与しております。 一方、これまで通院したことがない町民の方に対して、このように素晴らしい病院の状況が必ずしも周知されていないように思われます。そのため、この					

順位	3席	議員 氏名	4番 沢 尾 宏 之	質問方式	一問一答方式
ような状況を町民により一層広く周知するためにも広報の強化を図るべきと考えますがいかがでしょうか。					

順位	4 席	議員 氏名	1 1 番 平 野 敏 彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	---------------	------	--------

1. 農福連携の取り組みについて

- (1) 国では「農福連携等推進会議」を設置し、令和元年6月「農福連携等推進ビジョン」を取りまとめ、その内容は農業分野での課題である労働力の確保の取り組みとする一方で、障がい者にとって農業を通じた働く場の確保や、賃金・工賃の向上のほか、地域との交流促進等生活の質の向上が期待される取り組みとなっております。

このビジョンに掲げられた「知られていない」「踏み出しにくい」「広がっていない」といった課題解決に取り組むとあります。

3つの項目の課題の内容について、お伺いいたします。

- (2) 県では令和6年3月「県ユニバーサル農業推進方策」を公表、障がい者や高齢者、生きづらさを感じている人が農業に従事することで、生きがいの創出や社会参画・県の1次産業の振興を図る取り組みの強化の一環として、県内各地で現地検討会が開催され「県ユニバーサル農業推進方策」について理解を深めたとあります。

おいらせ町の農福連携の取り組み経過について、お伺いいたします。

- (3) 当町議会産業民生常任委員会では、三重県名張市の農福連携の取り組みについて調査活動を行ないました。名張市では、平成21年に「障害者アグリ雇用推進協議会」を設立。障がい者の農作業を支援する「農業ジョブトレーナー」の養成、一人一人に寄り添う作業支援を行い就労に結び付ける取り組みをしております。当町でも、農業や福祉、教育と連携した体制作りに取り組み、障がい者や高齢者引きこもり等の方々を支援するトレーナーの養成は必要と考えますが、当町の取り組みについて、お伺いいたします。

2. 空き家解消の対策について

- (1) 空家等対策の推進に関する特別措置法が改正されました。この法改正による、「空き家」・「特定空き家」・「管理不全空き家」の定義について、お伺いいたします。

順位	4 席	議員 氏名	1 1 番 平 野 敏 彦	質問方式	一問一答方式
(2) 当町の「空き家」・「特定空き家」・「管理不全空き家」の町内別実態について、お伺いいたします。 (3) 「空き家」解消に向けたこれまでの取り組みの実態について、お伺いいたします。 (4) これまで、「空き家」解消に向けた町内の各業界団体との連携した取り組みについて、お伺いいたします。 (5) 国の空き家対策総合支援事業を活用した、空き家除去の取り組みを進める考えはないかお伺いいたします。 3.町の不登校の実態について (1) 青森県教育委員会のまとめによると、2023年度の県内公立学校不登校数は、100人当たり小学校が17.0人、中学校は69.8人で1968年以降で最多とあります。 2023年度の当町小学校、中学校の不登校の実態について、お伺いします。 (2) 同年度、教師に対する暴力行為の小学校、中学校の実態について、お伺いいたします。 (3) 同年度、児童・生徒間や対人、器物損壊も含めた暴力行為の小学校、中学校の実態について、お伺いいたします。 (4) 青森県教育委員会は、不登校の増加理由を「学校に対する保護者の意識変化や、コロナ禍の影響による登校意欲の低下などが考えられる」とあります。おいらせ町の認識は。					

順位	5 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸 也	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	-------------	------	--------

1. 学校給食の充実について

農林水産省「食育基本法」において、学校でも食育に取り組むことの重要性が示され、また、文部科学省「学校給食法」において、一層の地場産物の活用が求められている。特に各地域の優れた伝統的な食文化について理解を深めることが明記されている。

そのことを踏まえ、学校給食の食育の推進について質問する。

(1) 郷土料理は、地域の身近な食材を通して、食材の旬や産地について理解を深められるほか、地域独自の食文化を見直すきっかけにもなる。

ア. 地産地消給食を現在よりさらに推進させることは、地元を大切にする心（郷土愛）を育み、地元産業を応援できる等の利点がある。

学校給食は、郷土愛を育み郷土の良さを実感させて、若者が将来定住してくれることに繋がる。おいらせ町は、そのような取り組みをしているのか伺う。

イ. おいらせ町産食材の利用率は重量ベースで何%か。

また、その利用率は高い数値なのか。見解を伺う。

(2) おいらせ町産の食材について

ア. 現在地元産として米やキャベツ、大根、ニンジン、キノコ類、みそ類を給食に活用している。その他、おいらせ町産で生産量の多い野菜（白菜やゴボウ等）、魚介類（ホッキ貝等）が活用できないのはなぜか。見解を伺う。

イ. 当町の一食あたりの給食の金額は、今年度値上げをして、小学校が275円、中学校が320円である。それでも、まだ八戸市に比べ安い。八戸市小学校が315円、中学校375円である。物価高騰が毎月続いているので、さらなる値上げを検討し、対応していく考えがないか見解を伺う。

ウ. 地産地消給食の実施校（下田小学校、百石小学校、甲洋小学校）に200円の保護者負担を強いている。解消できないか伺う。

順位	5 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸 也	質問方式	一問一答方式
(3) アレルギー対応について ア. 食物アレルギー生徒・児童は各学校何人か。その対策はどうなっているのか伺う。					